

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年11月25日

施設名	高知県立牧野植物園	所管課名	環境共生課
-----	-----------	------	-------

## 1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県牧野記念財団	指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
施設所在地	高知市五台山4200-6		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物園の設置の目的※を達成するための事業の企画及び運営に関する業務</li> <li>・植物園の利用の許可、撮影の許可、許可の取消し等に関する業務</li> <li>・植物園の利用料金の收受、減免、還付その他の利用料金の徴収に関する業務</li> <li>・植物園の施設、設備等の維持管理に関する業務</li> </ul> <p>※『牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供するため』 (高知県立牧野植物園の設置及び管理に関する条例第1条)</p>		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>〈植物園面積〉 約17.8ha(うち6haを利用に供用)、駐車場(普通車など195台、バスなど8台)</p> <p>〈主要施設〉 牧野富太郎記念館(本館、展示館)、回廊、温室、資源植物研究センター、土佐寒蘭センター、学習館、長江圃場、レストラン、ショップ、カフェなど</p> <p>〈開園時間〉 午前9時～午後5時</p> <p>〈休園日〉 12月27日～1月1日</p> <p>〈主な料金〉</p> <p>入園料／一般700円(高校生以下無料)、団体600円(20名以上)、年間入園券2,800円、高知県長寿手帳保持者等は無料</p> <p>施設利用料(1時間当たり)／映像ホール1,400～1,800円、アトリエ実習室500～600円など</p> <p>撮影料／業として行う写真の撮影:撮影者1人当たり日額1,800円、業として行う映画の撮影:撮影機1台当たり1時間3,600円</p>		
職員体制	<p>常勤職員: 10人 非常勤職員: 47人 合計: 57人 (平成22年4月1日現在)</p>		

## 2 収支の状況

単位:千円

		20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
収入	県支出金	256,359	256,433	240,016
	使用料・手数料	84,212	39,001	78,143
	その他			
	収入計 (a)	340,571	295,434	318,159
支出	事業費	16,769	35,667	21,439
	管理運営費	135,408	101,481	124,160
	人件費	163,826	165,972	177,712
	その他			
	支出計 (b)	316,003	303,120	323,311

### 3 利用状況

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	208,520	129,248	200,000
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般の来園者については、窓口や各展示会場にアンケートボックスやノートを置いてあるほか、講演会やイベント・講習会の際にもアンケートを行い、利用者ニーズの把握に努めている。</li> <li>頂いたご意見やアンケート結果については、取りまとめを行い、園内で回覧後、対応を話し合いにより決めている。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内案内は来客の要望・対象に応じ、職員による対応を実施。また案内サインについては、きめ細かい対応を実施。利用案内については、窓口で口頭での説明とパンフレットの配布を実施、施設利用については、事前申し込み時に口頭で説明した上で利用時の案内文を送付してお客様対応を図った。</li> <li>ご協力いただいたボランティアの方にも、ご意見を頂き、今後の管理運営に生かすことができるよう努めている。</li> </ul>		
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>メイン施設である温室の建替工事のため来園者が大きく落ち込むことが予想されたが、限られた条件のなかで積極的なイベント実施などにより、年間入園者数が12万9千人確保できたことは、高く評価できる。</li> </ul>		

### 4 平成21年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	法令順守、利用料金の徴収に関する業務、施設の利用及び撮影の許可に関する業務、施設管理、危機管理体制の確立、情報管理などについて、公の施設として適正な管理運営が行われていると認められる。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌(紙)等の作成・配布のほか、報道機関・情報雑誌等を活用し、植物園の情報提供、広報、広告を効果的に行っている。</li> <li>牧野博士や植物に関わる特別展・企画展、各種イベントは温室が使用できない状況下でも職員の努力により、いずれも魅力的な内容となっているほか、展示方法にも工夫が見られ、来園者の好評を得ている。</li> <li>植物教室や体験教室をはじめ、植物園を児童生徒の総合学習の場として活用するなど、子どもから一般の方まで幅広い年齢層に対して充実した普及教育活動を行っている。</li> <li>これらの活動により入園者数の確保に結び付けることに成功しており、高く評価できる。</li> </ul>
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>園内での研究をはじめ、海外での調査や、大学・県の研究機関・企業等との共同研究等に加え、地域振興につながる研究にも精力的に取り組んでおり、研究型植物園としての機能強化が進んでいる。</li> <li>50周年記念庭園などの園地管理、長江圃場における植物の栽培・保存増殖作業などに加え、採集した標本資料の適切な保管・管理が行われており、植物管理についても熱心な取り組みが続けられている。</li> </ul>
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金収入は温室建替工事のため落ち込むことが予想されたが、入園者数12万9千人を確保することができ、平成18年度、19年度と同程度になった。研究部門における外部資金の導入など収入増加に向けた取り組みや経費節減への努力を引き続き行っており、成果が上がっている。</li> <li>新温室等、管理エリアの拡大による管理費用の増加への対応が課題となると思われる。</li> </ul>
総合評価	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メイン施設である温室の閉鎖というハンディがありながらも、職員の努力により入園者数を12万9千人確保できたことは高く評価できる。</li> <li>業務管理、各部の情報共有、職員のモチベーション向上等を図る組織マネジメントも向上しており評価できる。</li> </ul>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの